

初夏をつげる たがわの祭り

田川 5月17日(土)～18日(日)

会場 風治八幡宮、彦山川周辺 (田川市伊田)
(JR・平成筑豊鉄道田川伊田駅より徒歩3分)
(西鉄バス南大通り臨時バス停より徒歩5分)

風治八幡宮川渡り神幸祭



福岡県の五大祭りのひとつ。450年以上も続く歴史と伝統を誇る祭礼です。2基の神輿を先頭に色鮮やかな11台の山笠が勇壮かつ華麗に彦山川を渡る様子はまさに圧巻です。見どころは、神輿と山笠が川の中で一直線に並ぶ競演会。山笠を前後に揺らす「がぶり」に大歓声があがります。

Pあり
田川市商工観光課 ☎0947-44-2000 (内線312)



川渡り神幸祭をささえてきた「川渡り神幸祭みこしをかつぐ会」が、今年40周年を迎え、例年以上の盛り上がりになりそうです。

第14回まつり IN 田川 御旅所、彦山川河川敷



風治八幡宮川渡り神幸祭でにぎわう彦山川のそば御旅所にメイン会場を設け、ステージイベントや石炭かがり火などが開催され、二日目の正調炭坑節総踊り終了で御神輿出御。

田川 5月24日(土)～25日(日)

会場 春日神社、田川後藤寺駅周辺
(JR・平成筑豊鉄道「田川後藤寺駅」より徒歩0分)
(西鉄バス「後藤寺バスセンター」より徒歩1分)

春日神社神幸祭



450年余りの歴史を持つ福岡県指定無形民俗文化財の岩戸神楽が奉納され、春日神社の周辺を神輿や女神輿、各地区の山笠が勇壮に駆け抜けます。24日(土)は、JRのひたひこウォーキングが開催されます。ウォーキングで初夏の自然を満喫し、同時にお祭りも楽しめます。

Pあり
田川市商工観光課 ☎0947-44-2000 (内線312)

川崎 5月3日(土)～4日(日)

会場 正八幡神社
(川崎町田原 882番地)

正八幡神社神幸祭



写真提供/川崎町教育委員会

1153年、源為朝が田川郡勾金に移り、この付近の領主となったとき、正八幡神社に杖、鎌の48手を奉納し、源氏の興隆と武運長久を祈ったのが杖案の始まりとされています。

が杖案の始まりとされています。

Pあり
川崎町社会教育課 ☎0947-72-3000

福智 5月3日(土) 予定

会場 福智町公民館方城分館前広場
(福智町伊方 4480番地1)

伊方山笠競演会



伊方山笠は、赤坂神社と白鬚神社の2つの神社があり、それぞれの氏子の神幸祭です。3日夜の山笠競演会は4日～5日はそれぞれの氏子区域を練り歩きます。5日夕方の祭りのクライマックスではそれぞれの神輿が神社へ戻るのを阻む山笠との競演が見ものです。

Pあり
福智町まちづくり総合政策課 ☎0947-22-7766

添田 4月12日(土)～13日(日)

会場 英彦山神宮
(車で北九州より約1時間、福岡より約1時間半)

英彦山神宮神幸祭



英彦山の神様は農業ととても縁が深く、3月の御田祭(おんたさい)に続く神幸祭で五穀豊穡が祈願されます。神幸祭では、古くから伝わる獅子舞や独特の舞が奉納されます。奉弊殿から急な階段を駆け下りる神輿は圧巻です。

Pあり
英彦山神宮 ☎0947-85-0001

香春 4月26日(土)

会場 古宮八幡神社下お旅所
(JR日田彦山線採銅所駅より徒歩3分)

古宮八幡神社神幸祭



素朴な白木の神輿の屋根は、杉の葉で葺かれ全国的にも唯一の杉の葉神輿で福岡県の無形文化財に指定されています。

Pあり
古宮八幡神社総代会会長 室井 洋一 ☎0947-32-4910

糸田 5月10日(土)～11日(日)

会場 フェスティバルパーク糸田
(平成筑豊鉄道 糸田駅より徒歩約5分)

糸田祇園山笠



300年以上続く伝統行事で、各地区が高さ最大で9m・重さ2t以上の飾り山笠を担ぎ、町内を練り歩き、勇壮な祭りです。同時に第21回糸田祇園山笠フォトコンテストを開催します。

コンテストを開催します。

Pあり
糸田町産業経済課 ☎0947-26-4025

当日は道の駅いどから無料シャトルバスを運行

赤 5月4日(日)～5日(月/祝)

会場 上赤地区：赤小学校上赤分校付近
下赤地区：我鹿八幡神社、今川公園付近
(平成筑豊鉄道田川線油須原駅より徒歩45分/車で10分)

神幸祭(上赤地区・下赤地区)



200年以上前から続く、各区で行われる村の代表的な祭り。独特のきやりや音頭とともに「五穀豊穡」と「里人の多幸」の祈りを捧げます。

当日は太鼓演出や出店などもあります。

Pあり
赤村政策推進室 ☎0947-62-3000